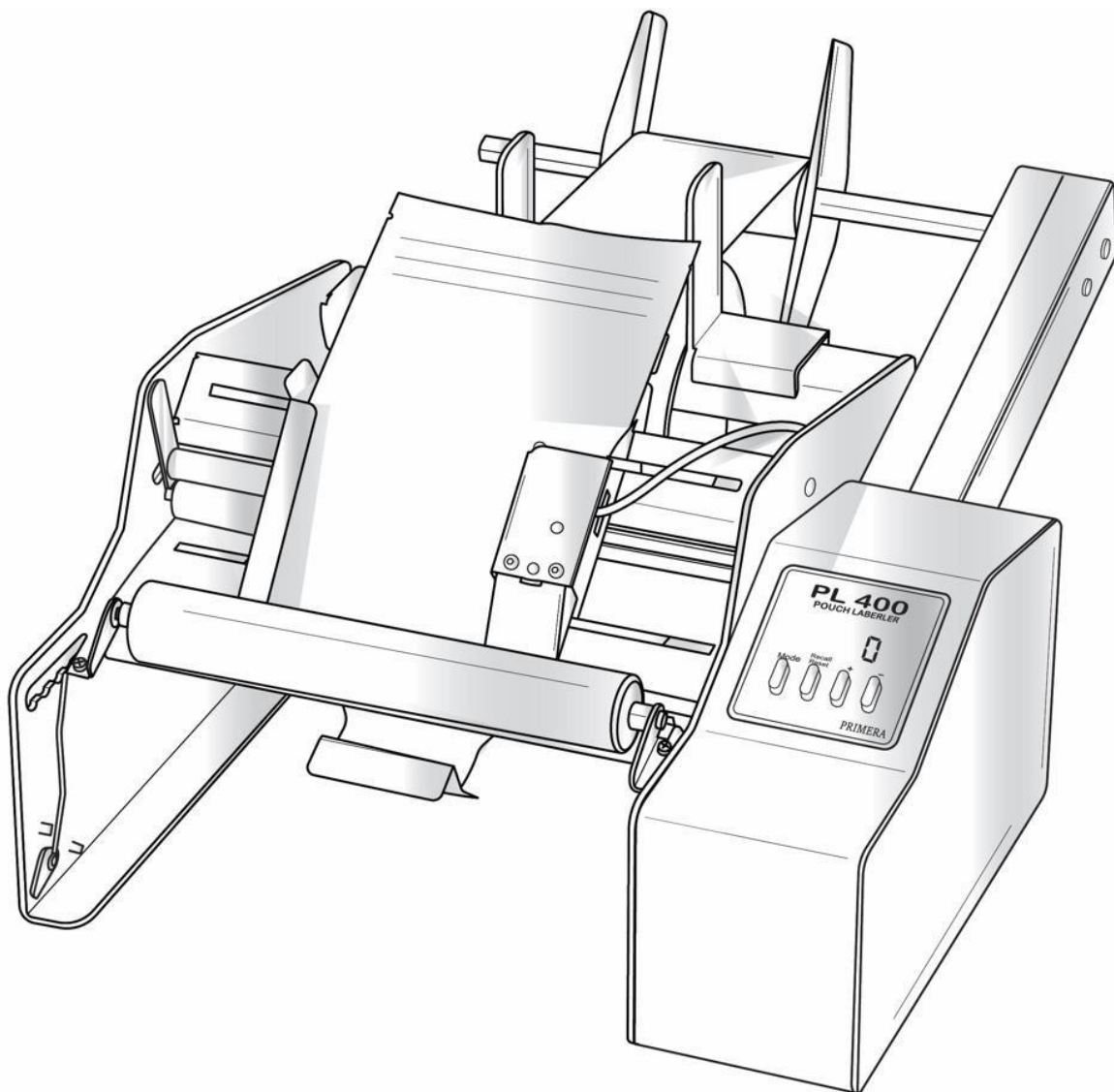




PL 400

POUCH LABELER

取扱説明書

© 2025 無断複写・転載を禁じます。

注意：本文書に記載されている情報は予告なく変更される場合があります。この出版物の内容に関し、商品性および特定目的適合性に対する黙示の保証等を含みますが、それに限定することなく、いかなる保証も行わないものとします。本書の誤りや本書の提供、内容の実施、また本書の利用によって偶発的あるいは派生的に生じる損害については責任を負わないものとします。本書には著作権によって保護されている占有情報が含まれています。全著作権は保護されています。本書の内容の一部または全部を書面による許可なしに複写、複製、他の言語へ翻訳することを禁じます。

商標表示：Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。その他のすべての商標は各所有者の資産です。

バージョン履歴：Edition 1.1, Copyright 2024 無断複写・転載を禁じます。

FCC 準拠基準：本装置は FCC 規定パート 15 に準拠しています。動作は次の 2 つの条件に従う必要があります。(1) 有害な電波干渉を引き起こさないこと (2) 不本意な動作の原因となる電波干渉を含む、受信したすべての電波干渉に対応しなければならないこと。

アメリカ合衆国のユーザーの方へ：本製品は定格出力 DC12V、4.5A 以上の UL 規格認定取得済みの「クラス 2」マークの直接入力タイプ電源または UL 規格認定取得済みの「LPS」マークの ITE 電源を使用することが前提となっています。本機器は、FCC 規定のパート 15 に基づくクラス A デジタル装置の制限に準拠していることをテストによって確認済みです。国内環境で本製品を使用した場合無線通信の干渉の原因となる場合があります、その場合ユーザーは適切な措置を取ることが求められます。本機器は無線周波エネルギーを生成、使用、および放射するため、指示に従わずに取り付けたり使用したりした場合は、無線通信に有害な干渉を発生させるおそれがあります。ただし、特定の設置方法において干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機器がラジオまたはテレビの受信に電波障害を引き起こす場合（これは本機器の電源のオン/ オフを切り替えることで確認可能）、次のいずれかの解決方法を試行することが推奨されます。

- 受信アンテナの方向または場所を変える。
- 本機器と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続されているものとは別の回路上のコンセントに本機器を接続する。
- 代理店や経験を積んだラジオ / テレビ技術者に相談する。

FCC 規定パート 15 に基づくクラス B 制限に準拠するには、シールドケーブルの使用が必要です。本機器に対して、本取扱説明書により明示的に承認されていない変更または改造を行った場合、本機に対するユーザーの操作権限や保証サービスを受ける権利が無効になる可能性があります。

カナダのユーザーの方へ：本デジタル機器はカナダ通信省の無線干渉規定に決められたデジタル機器の電波雑音に関するクラス B の限界を超えることはありません。Le present appareil numerique n'emet pas de bruits radioelectriques depassant les limites applicables aux appareils numeriques de la class A prescrites dans le Reglement sur le brouillage radioelectrique edicte par le ministere des Communications du Canada.

注意事項

火災や感電の危険を避けるため、本機を雨や湿気にさらさないでください。感電のリスクを減らすため、外側のパネルを取り外さないでください。パネル内部にユーザーが修理できる部品は存在しません。修理の際は、必ず修理の有資格者に依頼してください。本機は、必ずプリンター本体と AC アダプターのラベルに記載された電気仕様を遵守して使用してください。

警告

PL400 を操作する際は、ゆったりとした衣服やネクタイ・ネックストラップ・長いネックレスなど首から下げるものの着用を避ける、もしくは十分に注意してください。ラベルの貼付け時、ライナードライブローラーに巻き込まれ、危険を伴う可能性があります。

目次

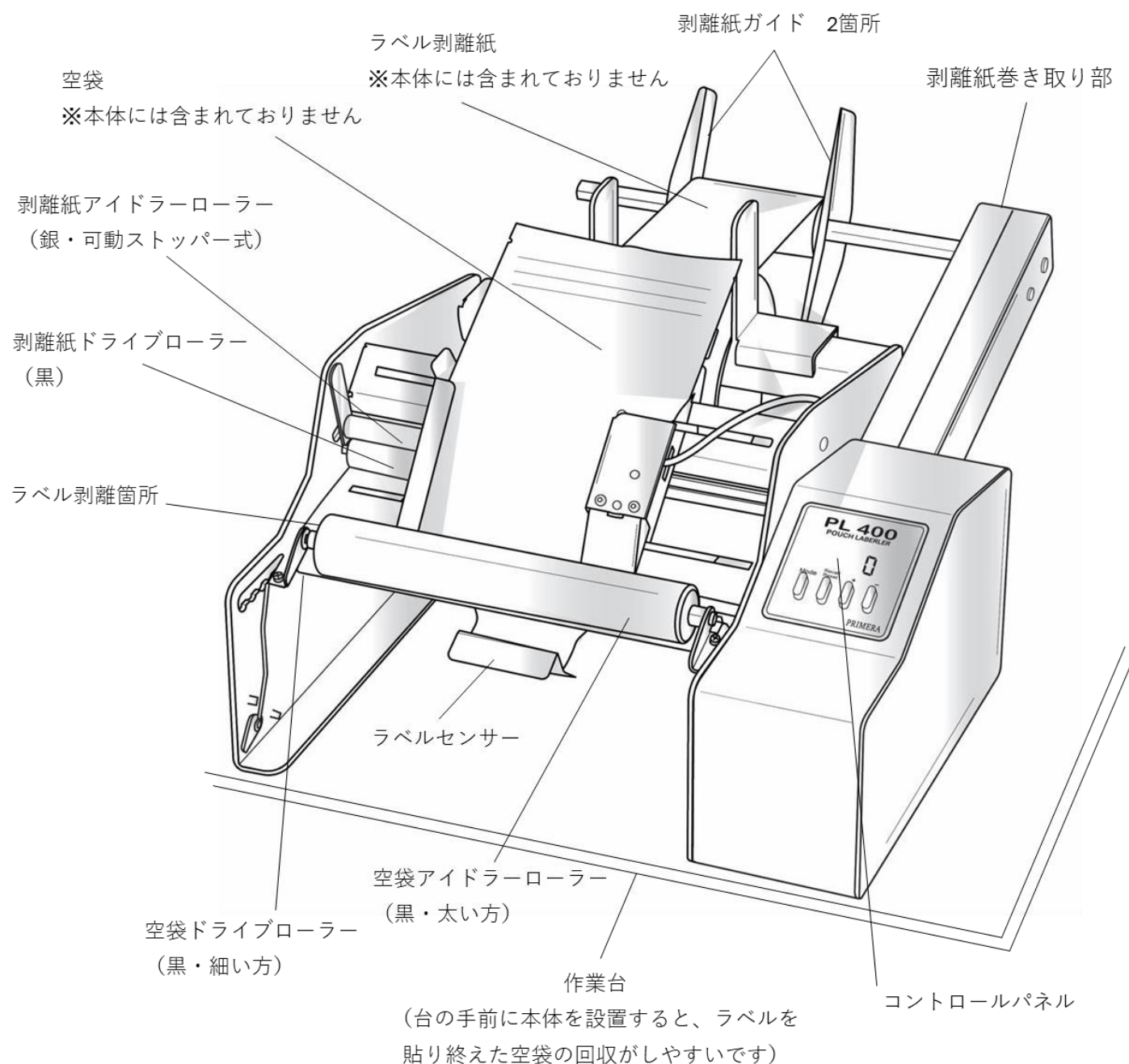
第 1 章：開梱とセットアップ	4
第 2 章：剥離紙巻き取り機を取り付け	6
第 3 章：ラベルロールの取り付け	10
第 4 章：空袋のセット方法・ラベルの貼付方法	24
第 5 章：各種設定	26
5A. 表示単位の切替	26
5B. ラベル位置調整	26
5C. 貼付速度の切替	27
5D. ラベルカウンターモード	27
5E. ラベル通紙モード	28
5F. ラベルの最大長変更	28
第 6 章：ラベルの通し方ガイド	29
第 7 章：解体・梱包の手順	30
第 8 章：トラブルシューティング	32
第 9 章：各種仕様	33

第1章：開梱とセットアップ

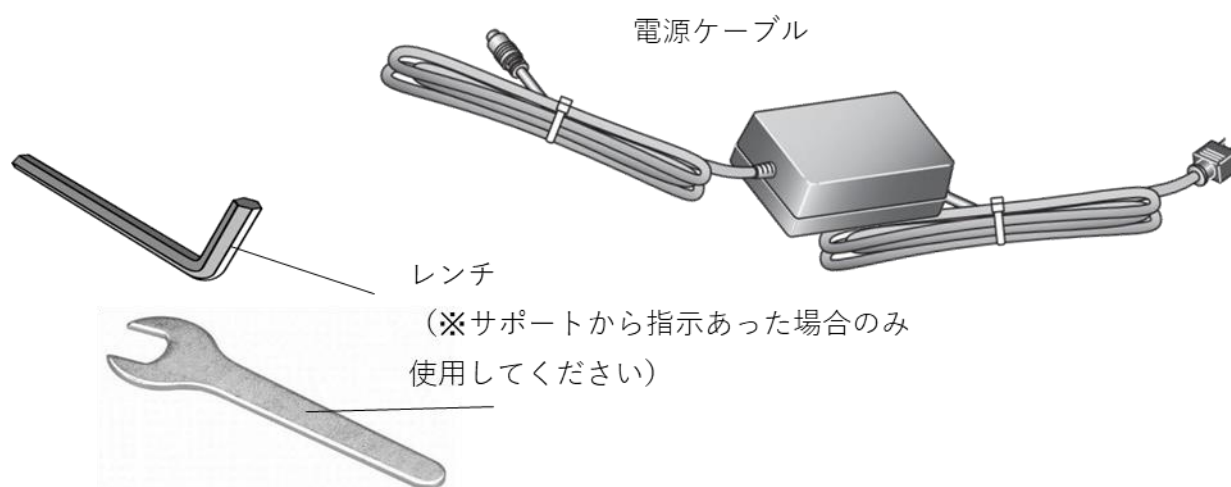
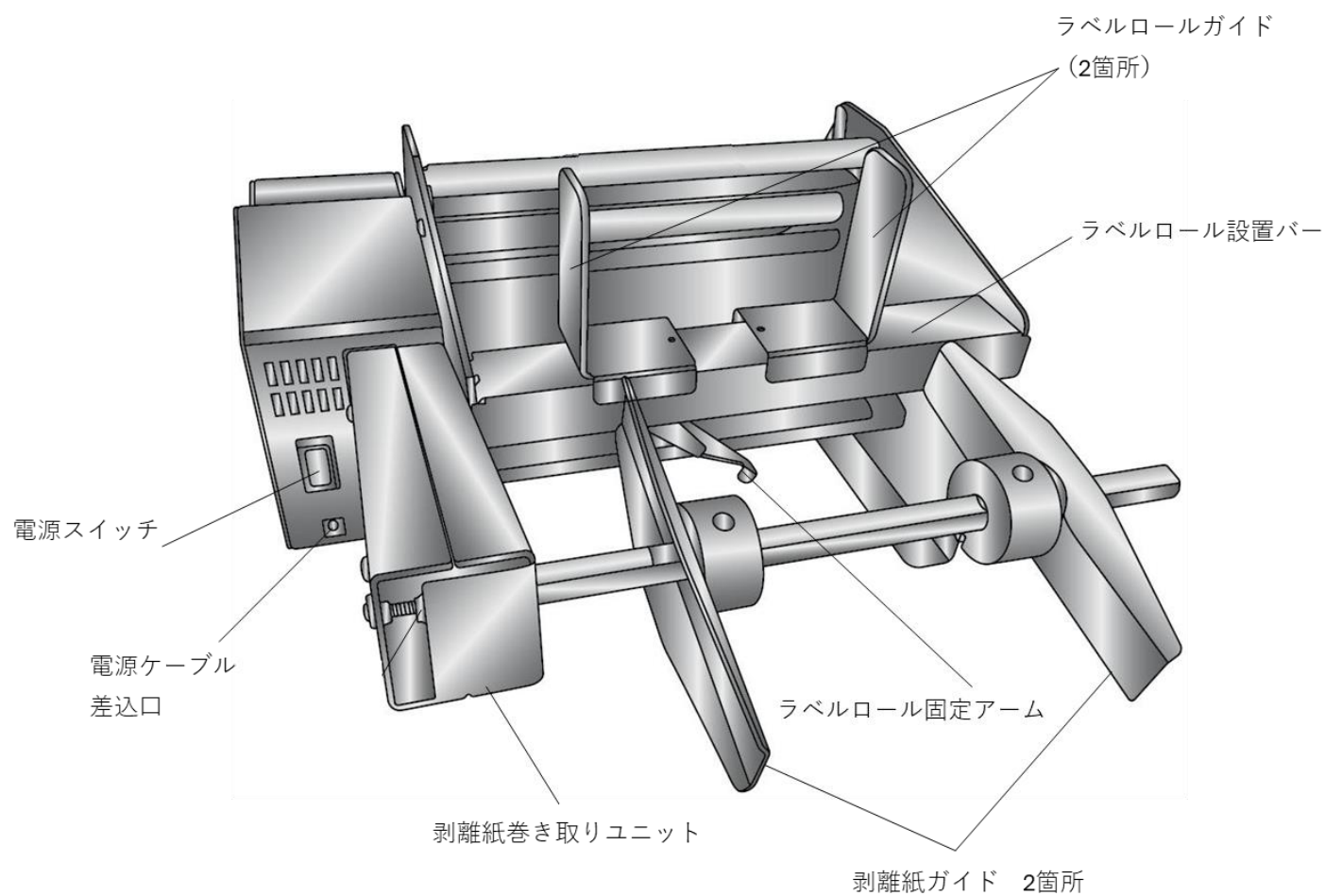
PL400 半自動ラベラーをお選びいただき、誠にありがとうございます。

まずはラベラーの各部品・名称を、以下図にてご確認ください。

<ラベラー前面から見た図>



<ラベラー背面から見た図>

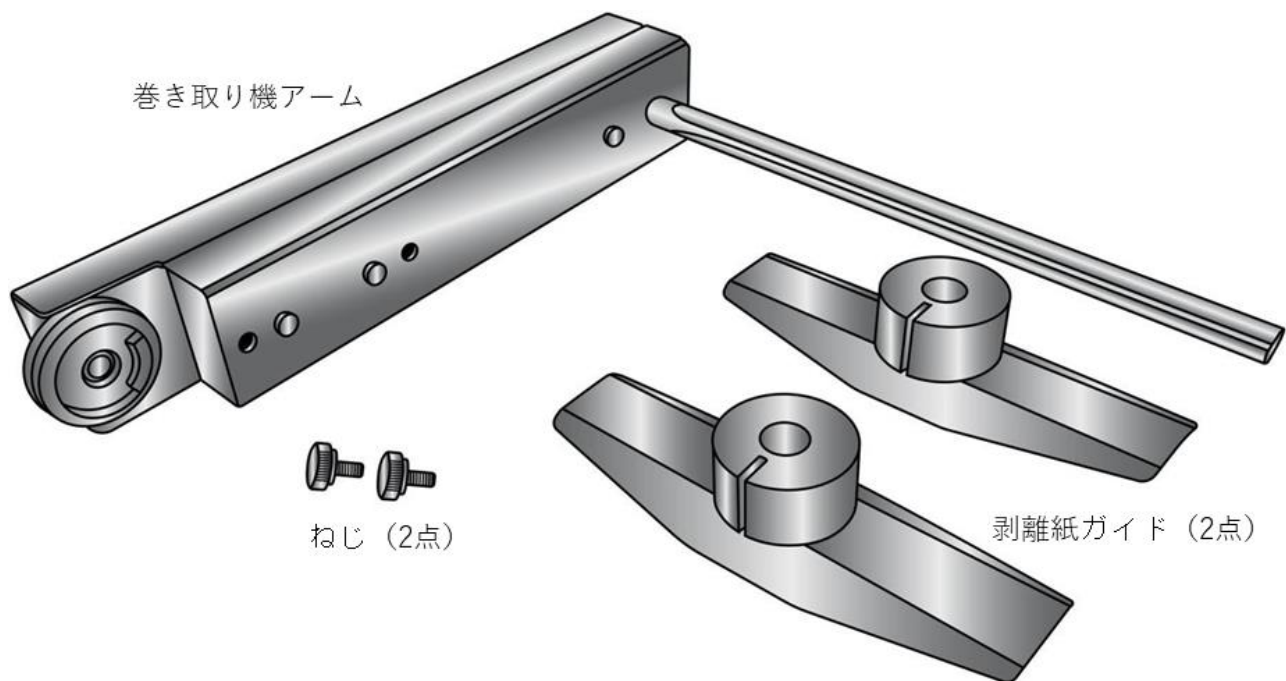


第 2 章：剥離紙巻き取り機を取り付け

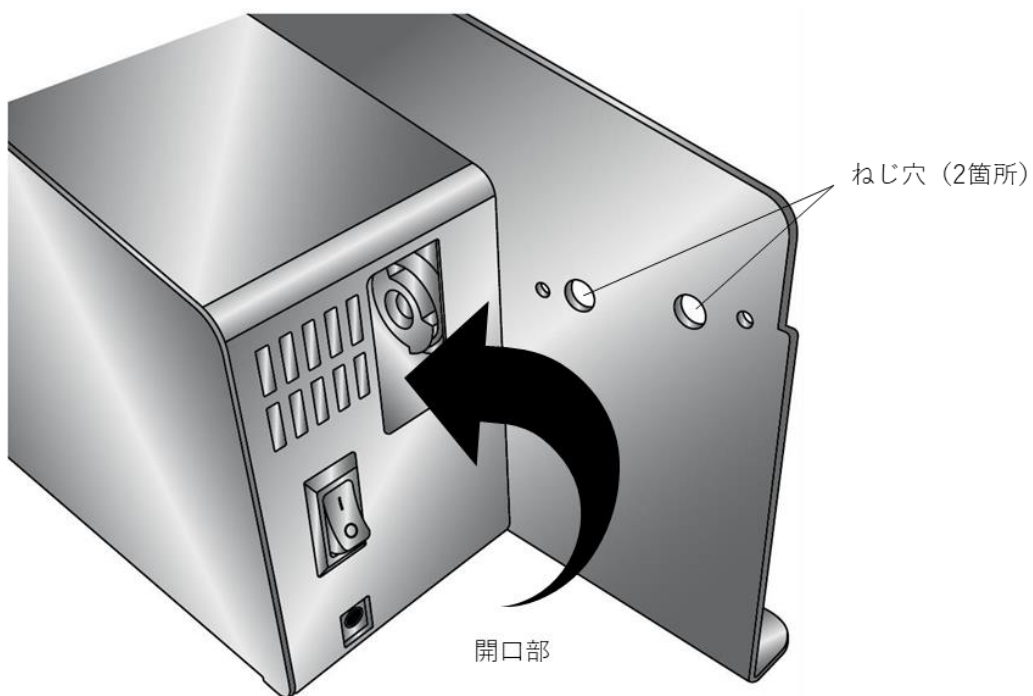
剥離紙巻き取り部分を組み立て、PL400 本体に装着します。以下手順に従って組み立ててください。
(特別な工具をご用意いただく必要はありません。)

- 1) 巻き取り機アーム、剥離紙ガイド (2 点)、およびねじ (2 点) が同梱されていることを確認します。

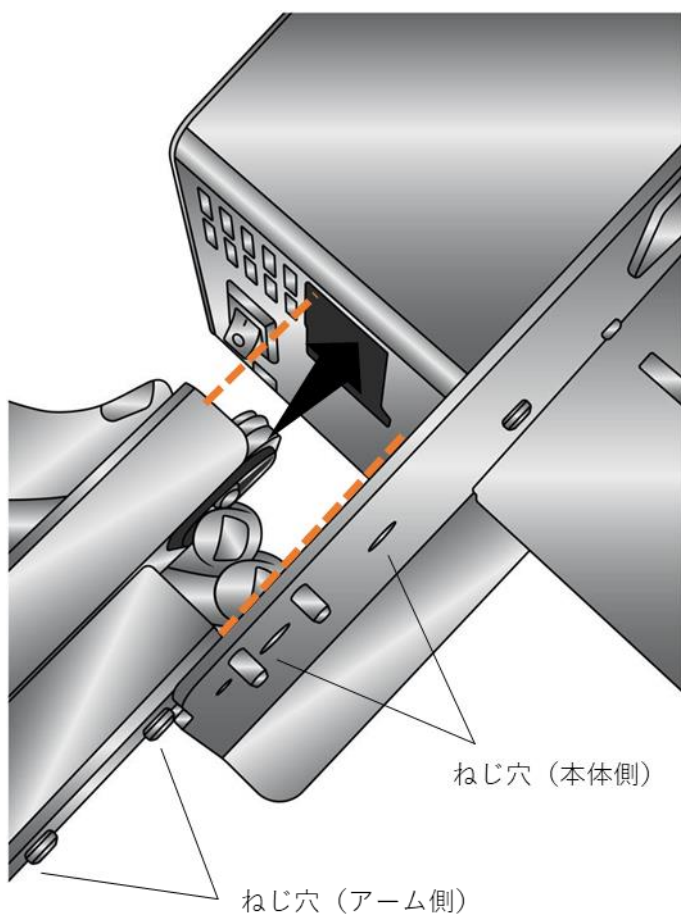
※ねじ 2 点は、アーム側面にあらかじめ装着されています。本体への装着前に一度アームから取り外してください。



- 2) ラベラー背面、電源スイッチの右上にある開口部を確認します。こちらに巻き取り機アームを装着します。

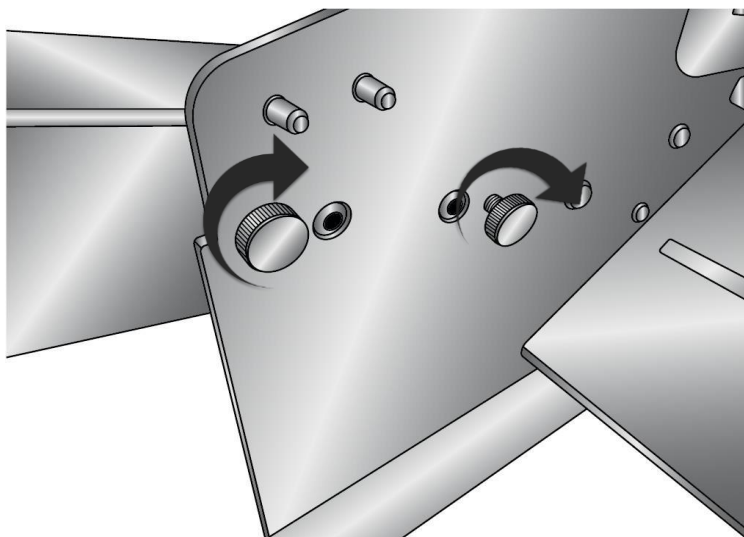


3) 下図のように、巻き取り機アームを開口部に装着します。



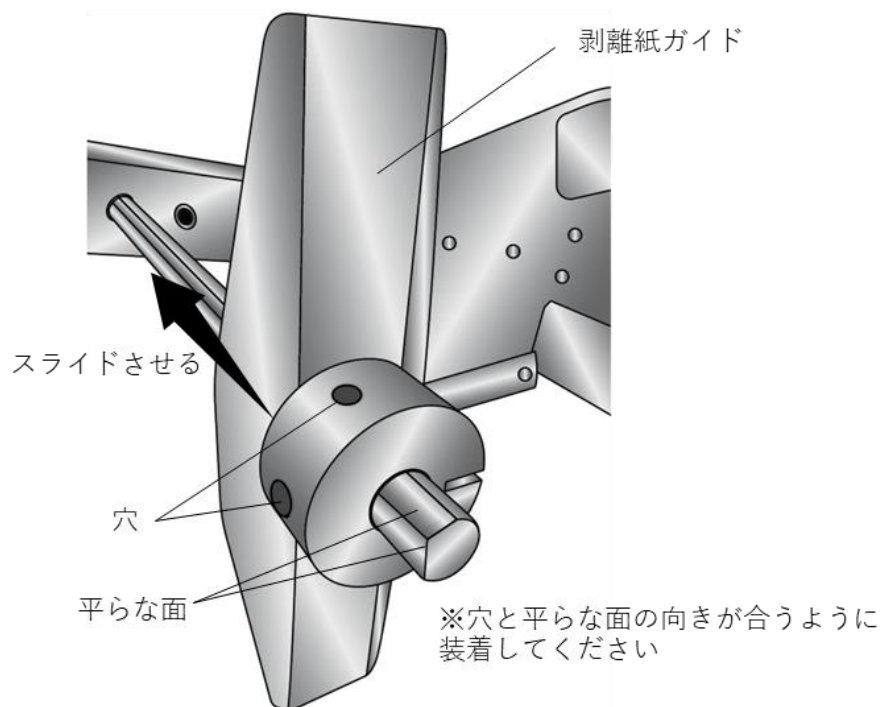
4) アームの側面にあるねじ穴と、本体のねじ穴を合わせます。(2箇所)

5) ねじ (2 個) をねじ穴に取り付け、手で締めます。

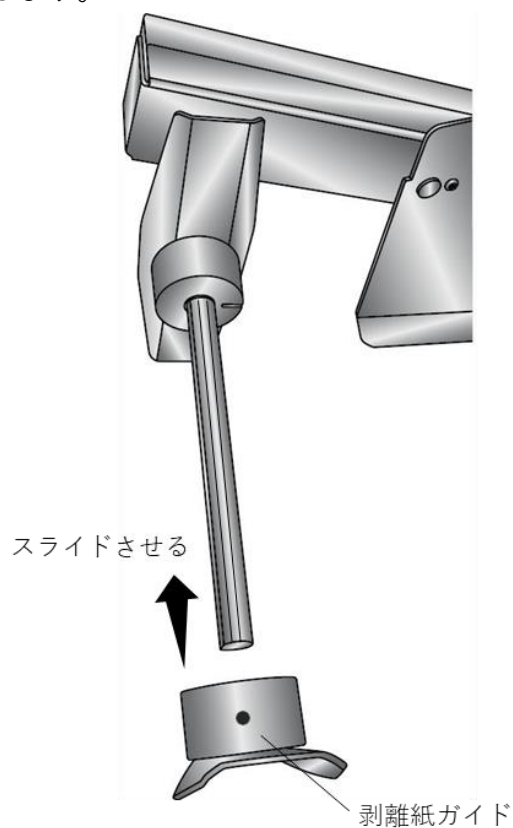


6) 剥離紙ガイド（2点）を巻き取り機に取り付けます。

一方のガイドを、黒い丸型のパーツが内側を向くようにして銀色のバーに通します。図で示した2箇所の穴と、銀色のバーの平らな面の向きが合うように装着してください。

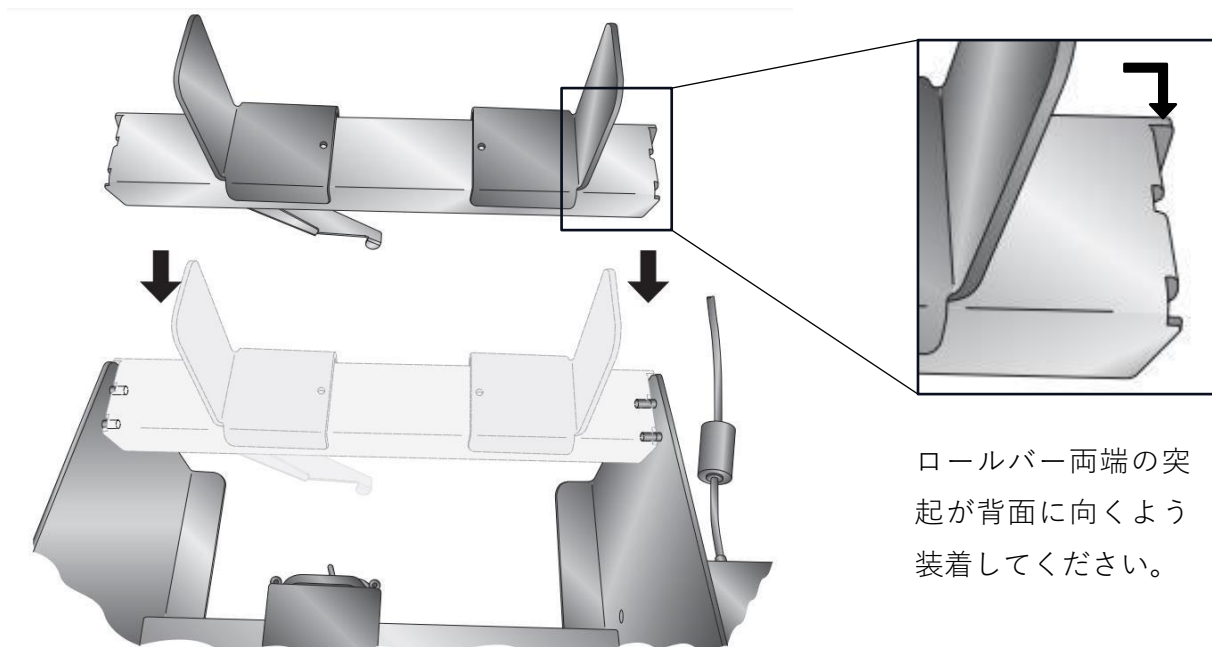


7) もう一方の剥離紙ガイドを、同じく黒い丸型のパーツが内側に向くようにして銀色のバーに通します。

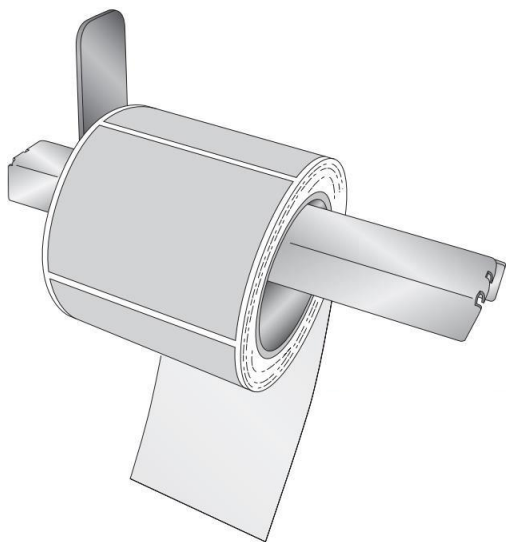


第3章：ラベルロールの取り付け

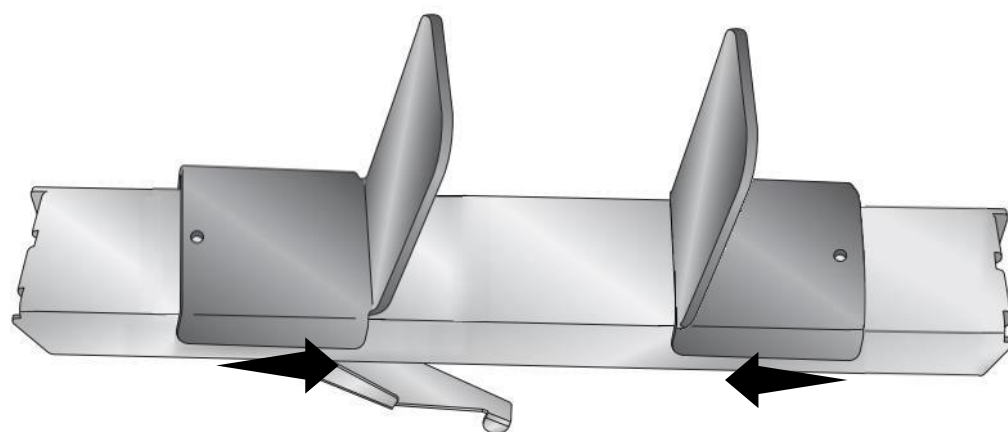
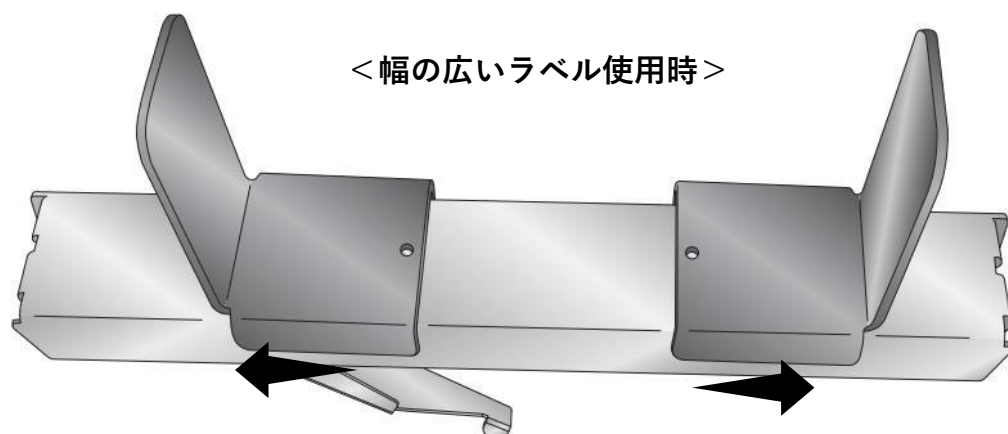
- 1) ラベルロール設置バー・ラベルロールガイド（2点）・ラベルロール固定アームが同梱されていることを確認します。ロールガイドと固定アームはマグネット式で、設置バーへの装着・取り外しが可能です。また、ラベルロールの幅や大きさに合わせて位置調整することが可能です。



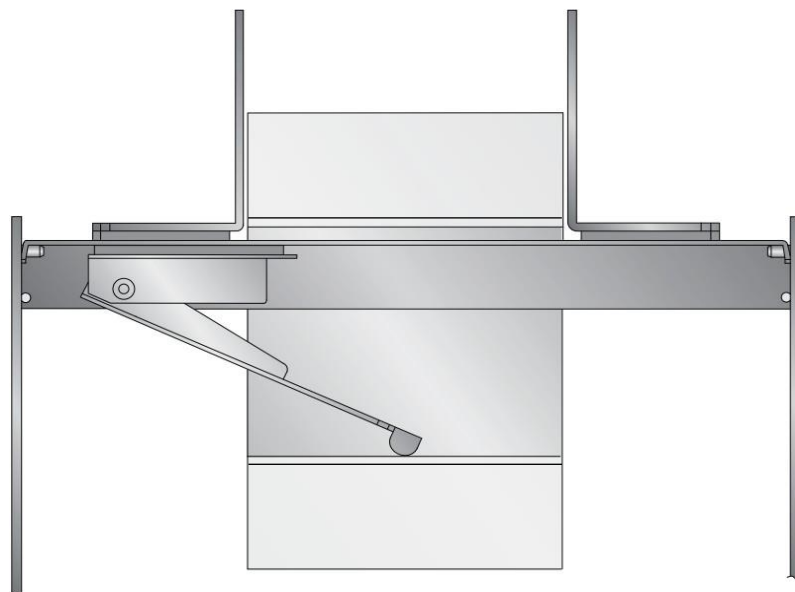
- 2) ラベルロールをロール設置バーに通します。下図の向きを参考に、ラベルロールの左側ロールガイドに対して垂直に当たるようにします。



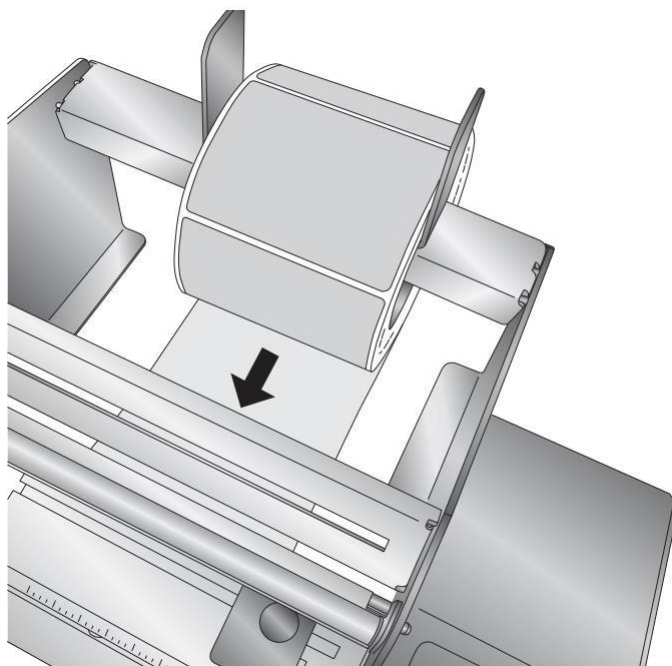
<参考> ラベル幅に応じて、ロールガイドの向きを変えることでロールを固定しやすくなります。



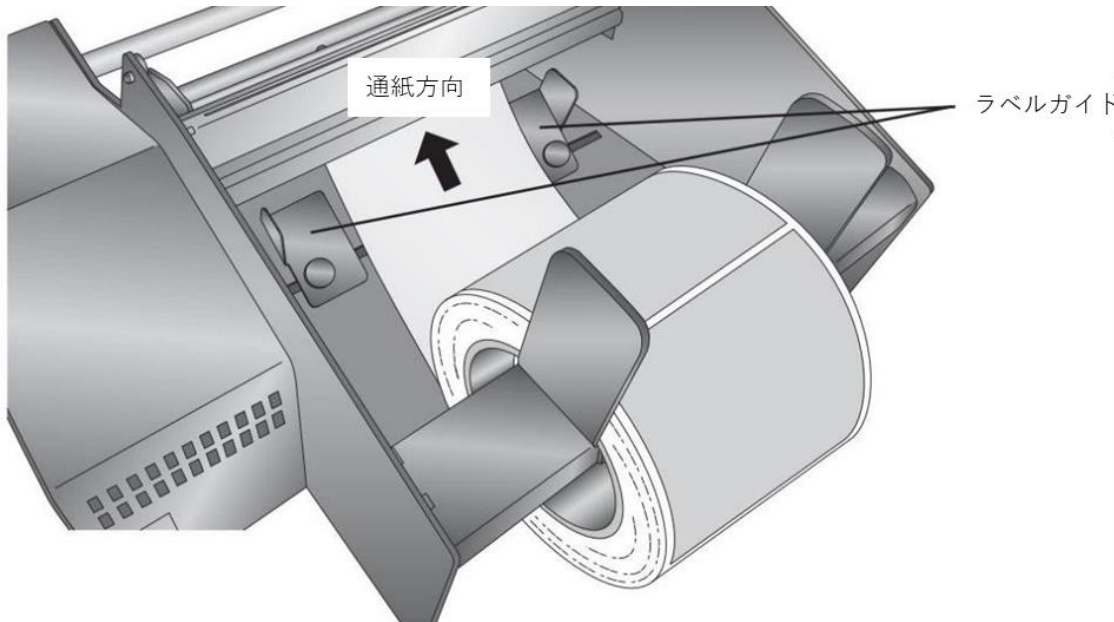
- 3) ロール固定アームを、設置バーの下側に装着します。固定アームの先端が、ラベルロール内側の中央あたりにくるように配置してください。アームがバネ仕掛けになっており、ロールの内側に下向きの圧力が掛かることで、貼付け位置のずれを解消します。



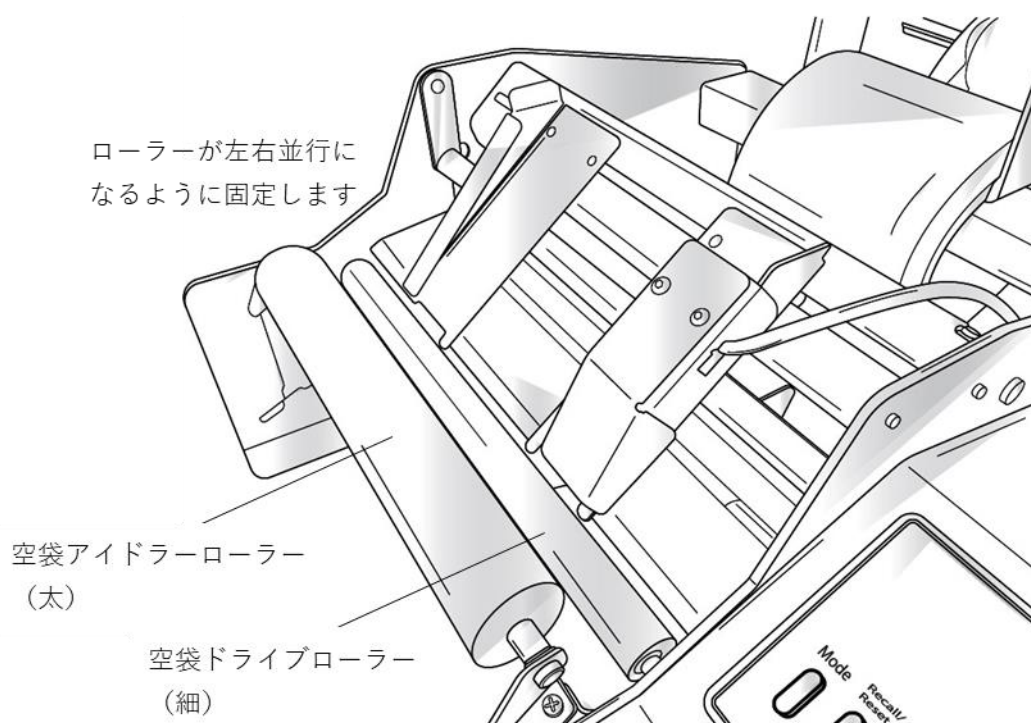
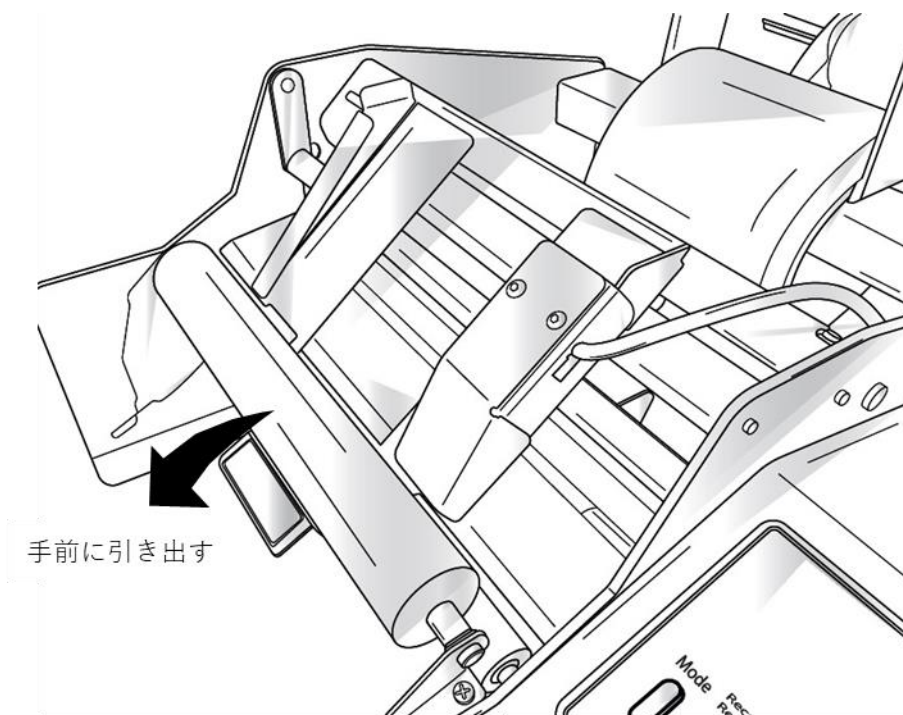
- 4) もう片方のラベルロールガイドを取り付けます。この際、ラベルロールの端を強く挟まないようにご注意ください。（ラベルロールがうまく回転するよう、若干の遊びを持たせるようにしてください。）



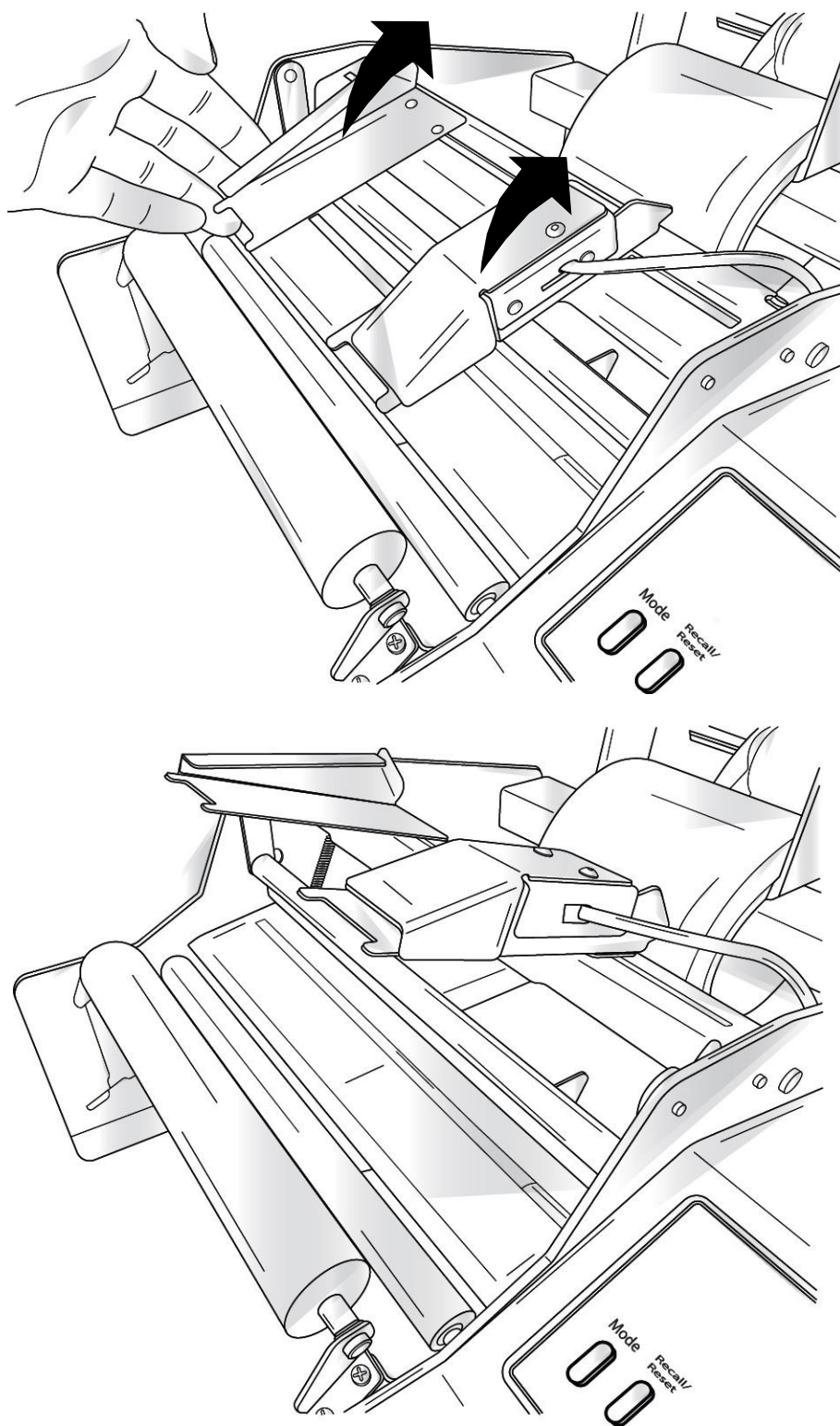
- 5) 空袋のラベル貼付け位置に合うよう、ラベルロールの位置を調整します。
- 6) ラベルロールの先端を前方に引っ張り、ラベラーの本体の背面側から給紙エリアに向かって差し込みます。ラベルガイドはこの時点では両端に寄せた状態でかまいません（後ほど調整可能です）。



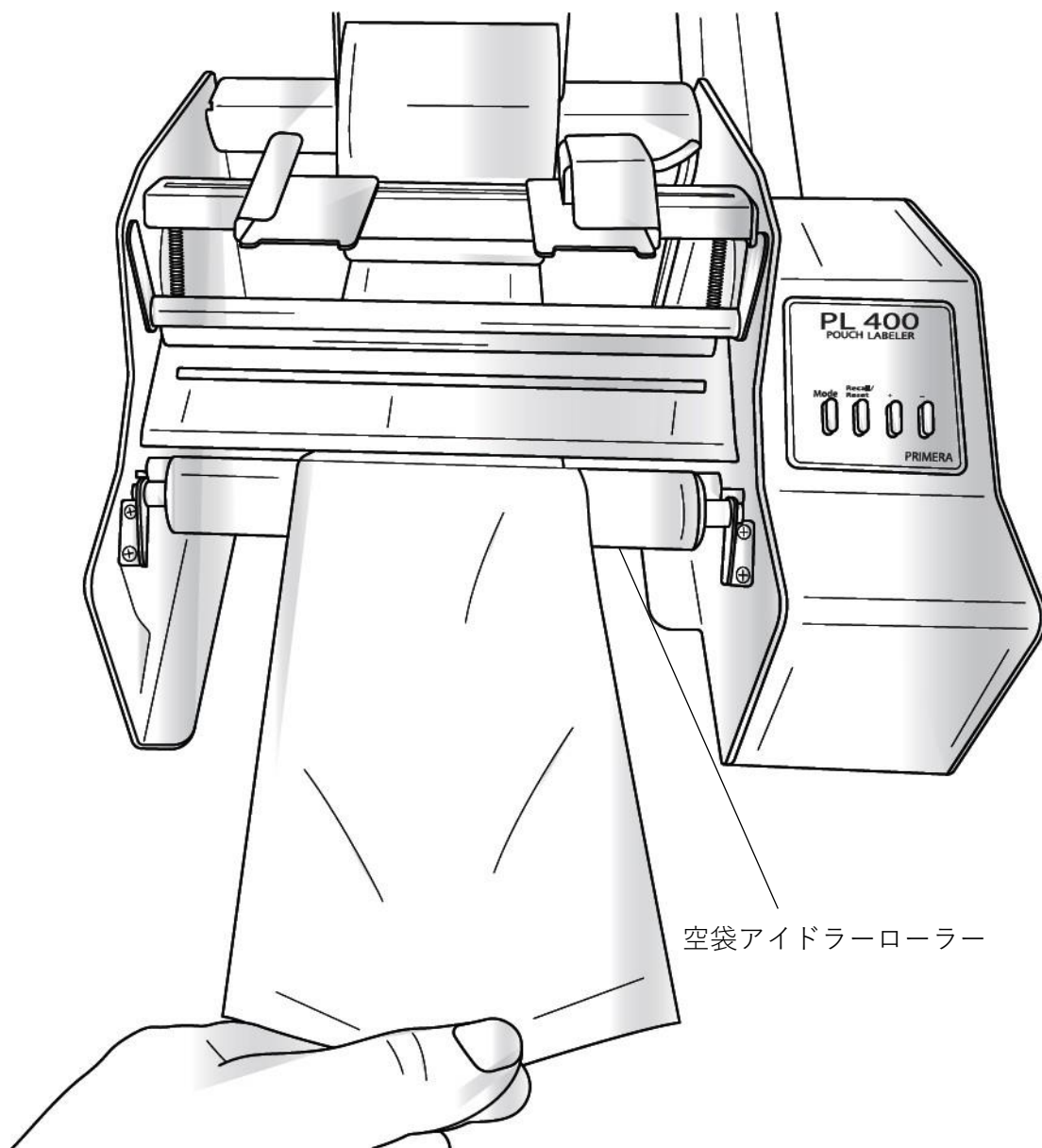
- 7) 空袋アイドラーローラー（一番手前の黒い太いローラー）を手前に引き出し、ロックされるまで開いた位置で固定します。アイドラーローラーとドライブローラー（細いローラー）の間にスペースが広がり、ラベル用紙を給紙しやすくなります。



8) 空袋ガイドを持ち上げ、剥離紙ドライブローラー・剥離紙アイドラーローラーにアクセスします

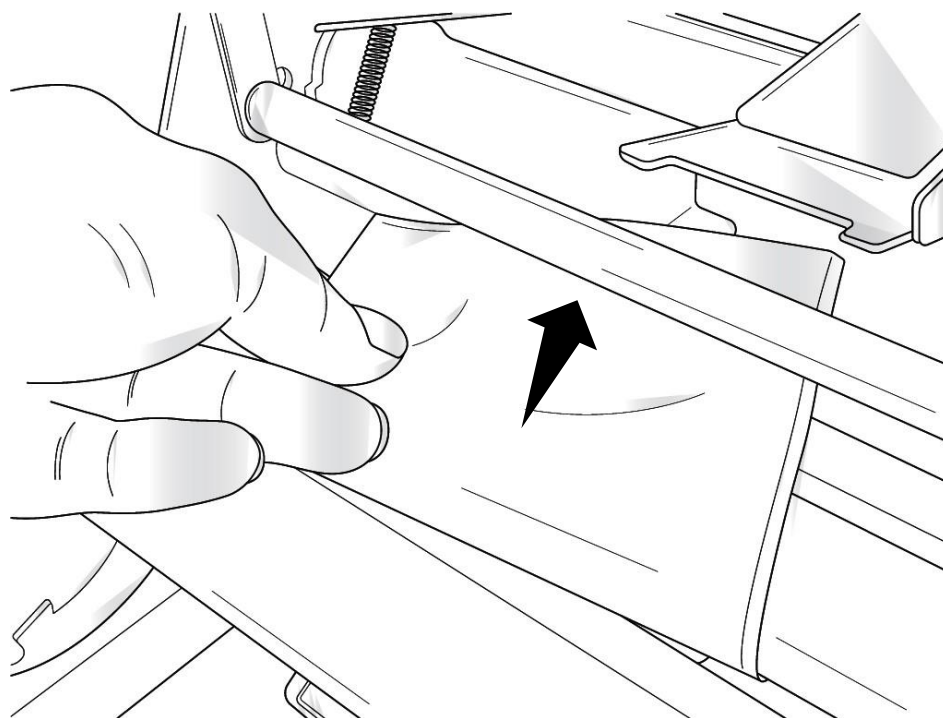


- 9) ラベル用紙をラベル剥離プレートから約 30 cm 手前に引き出し、空袋アイドラーローラーの上に掛かるようにします。引き出した分のラベルを剥がし、剥離紙だけの状態にします。



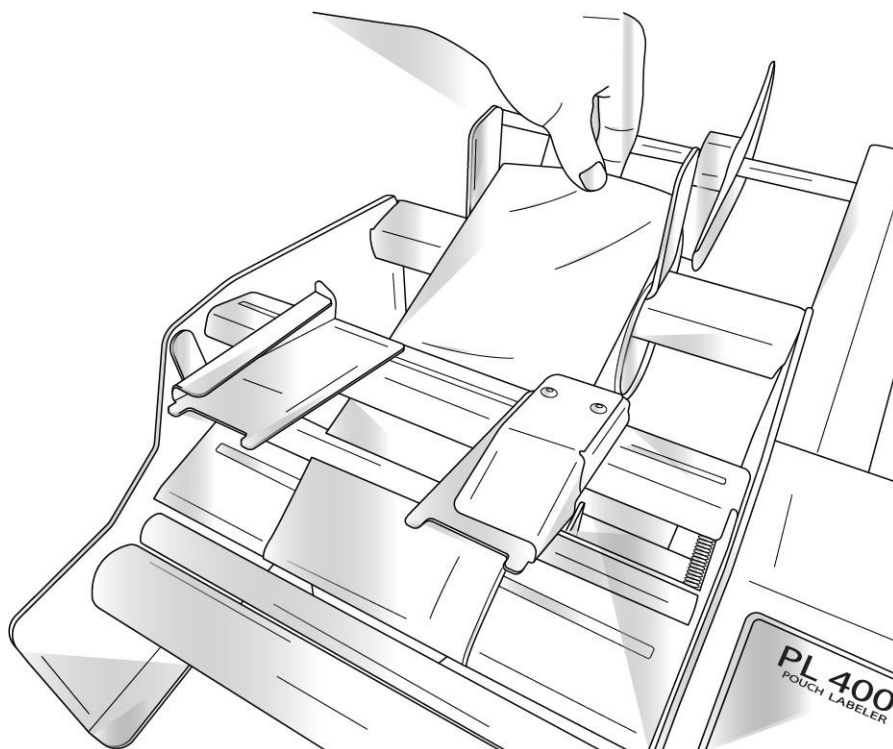
- 10) ラベル用紙の先端を持ち、剥離紙アイドラーローラー（銀）とドライブローラー（黒）の間に通紙します。通紙の際、アイドラーローラー（銀）のストッパーが外れた位置にあることを確認してください。

※第5章 5D のラベル通紙モードを使用すると、よりスムーズに通紙ができます。

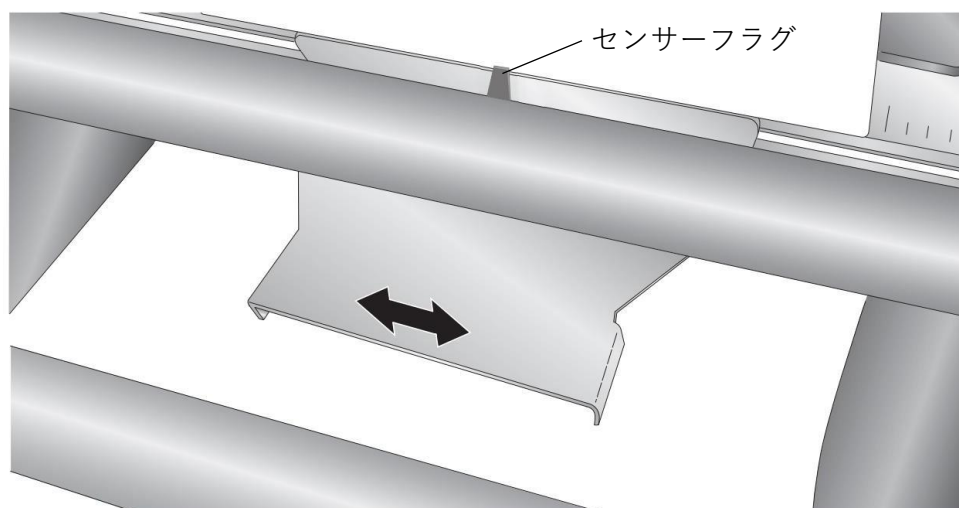


- 11) 剥離紙の先端が巻き取り部に届く位置まで、本体背面に向かって引っ張ります。

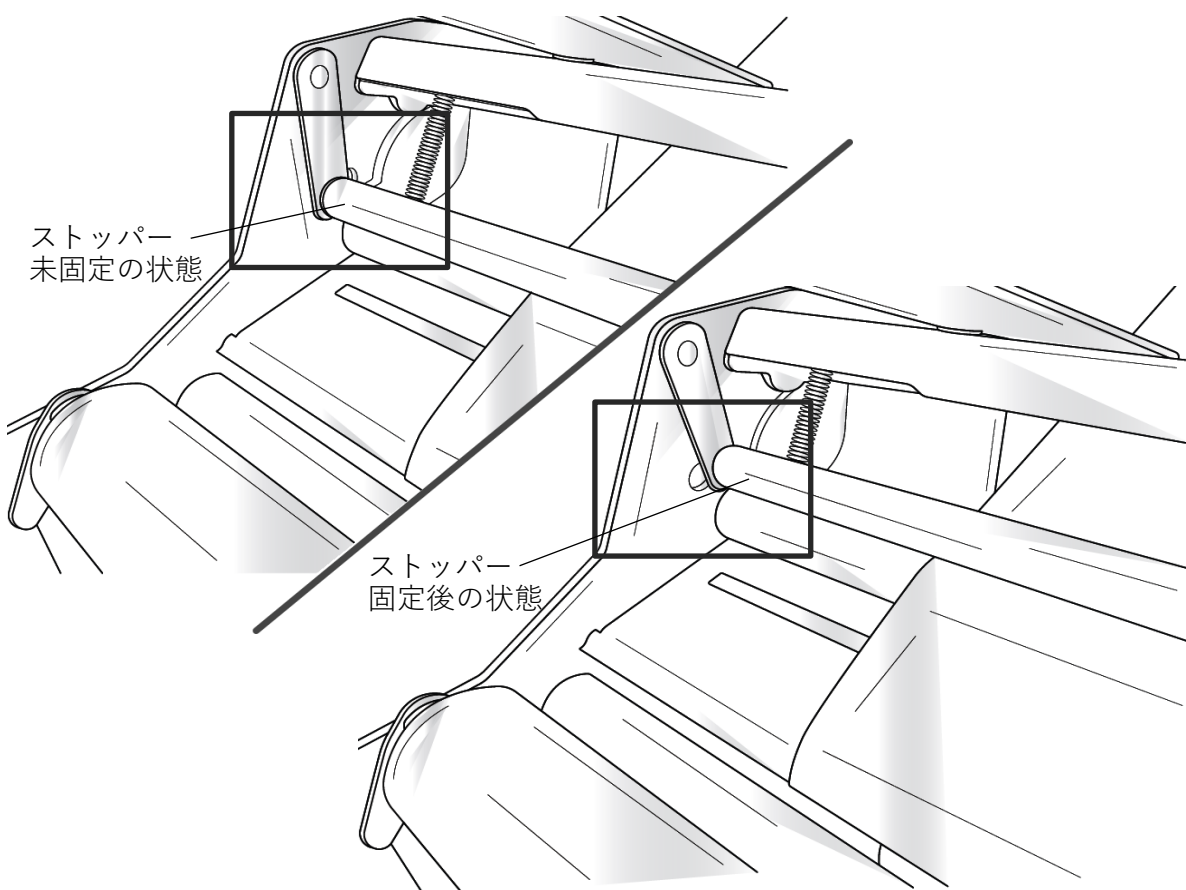
ラベル間ギャップがラベル剥離プレートの位置に来るように、ラベルロールの巻き具合を調整します。



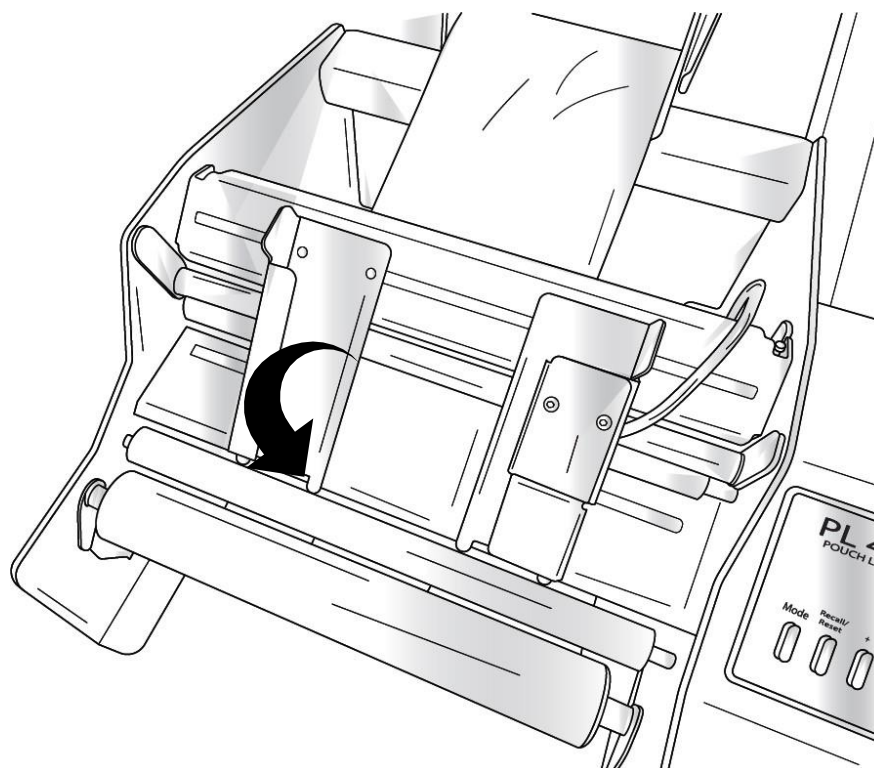
- 12) センサーフラグ（下図参照）をスライドさせ、ラベルロールの中央に来るように調整します。



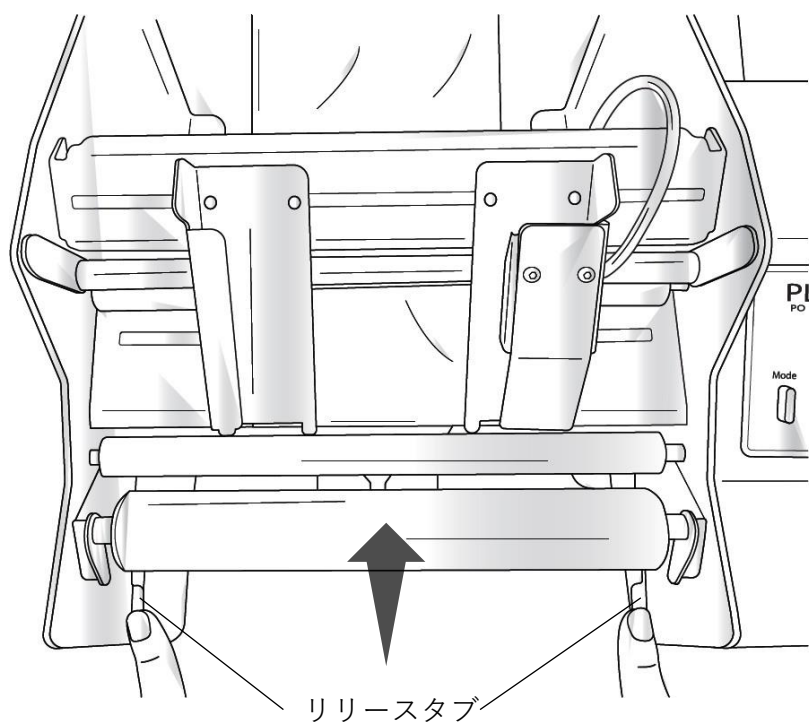
- 13) 剥離紙アイドラーローラー（銀）を押し込み、ストッパーを固定します。



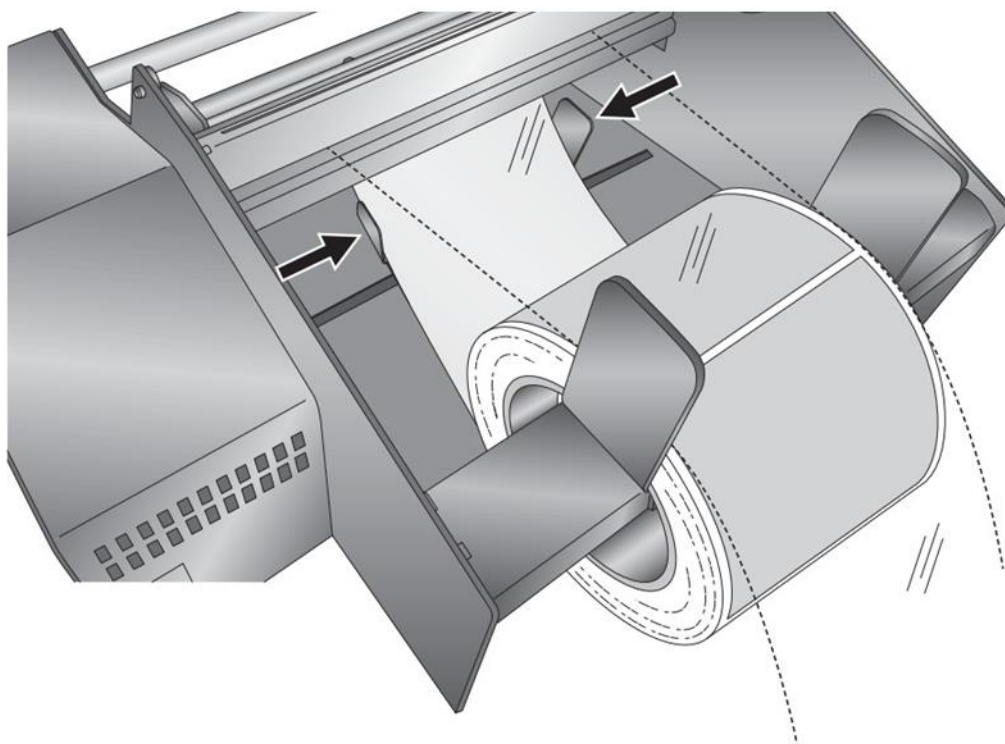
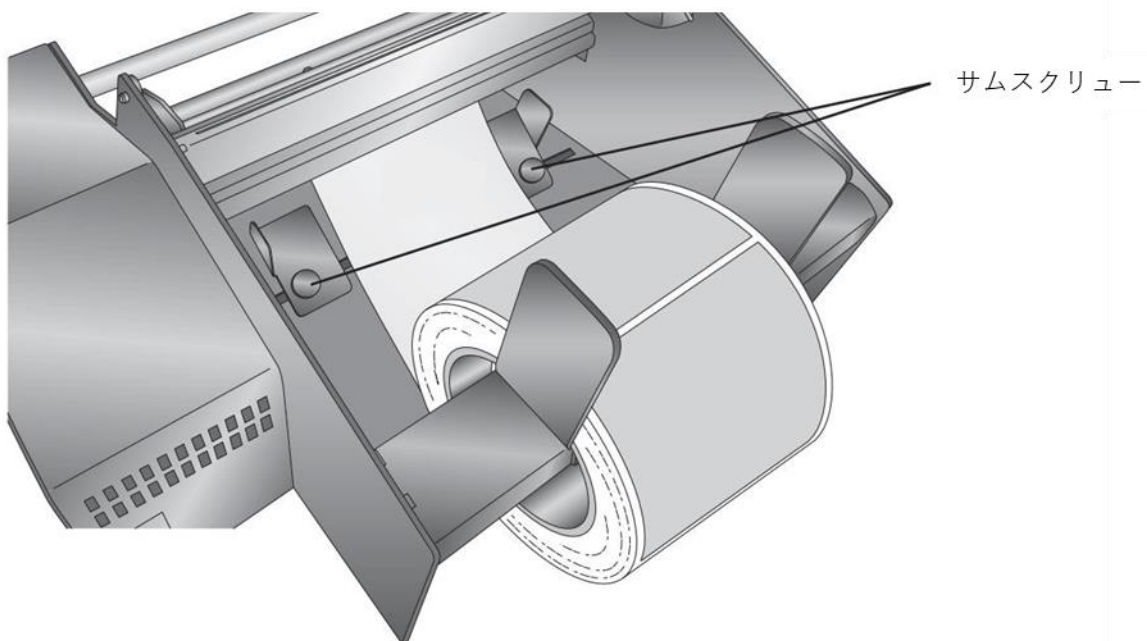
14) 空袋ガイドを下ろします。



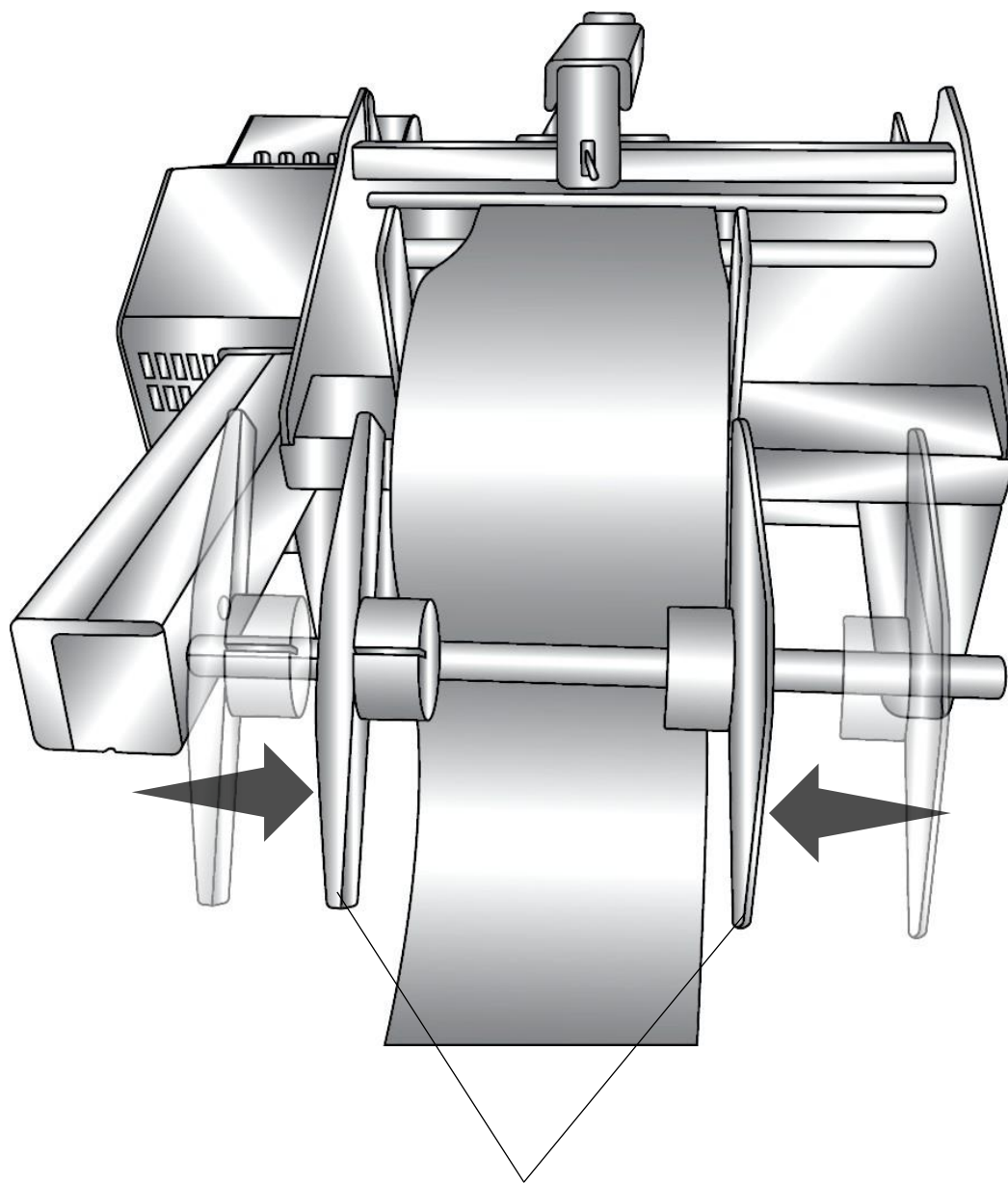
15) ラベラーの両側にあるリリースタブを同時に押し下げ、空袋アイドラーローラーを元の位置に戻します。（空袋アイドラーローラーとドライブローラーの間が狭くなります）



- 16) ラベルガイドの位置を調整し、ラベルの両端に沿うようにします。サムスクリューを緩めることで左右にスライドできます。



- 17) フットスイッチを押してラベルを貼り始め、剥離紙が背面の巻き取り機に届くまで続けます。剥離紙ガイドの位置をスライドして調整し、剥離紙の両側に 3mm 程度の余裕ができるようにします。



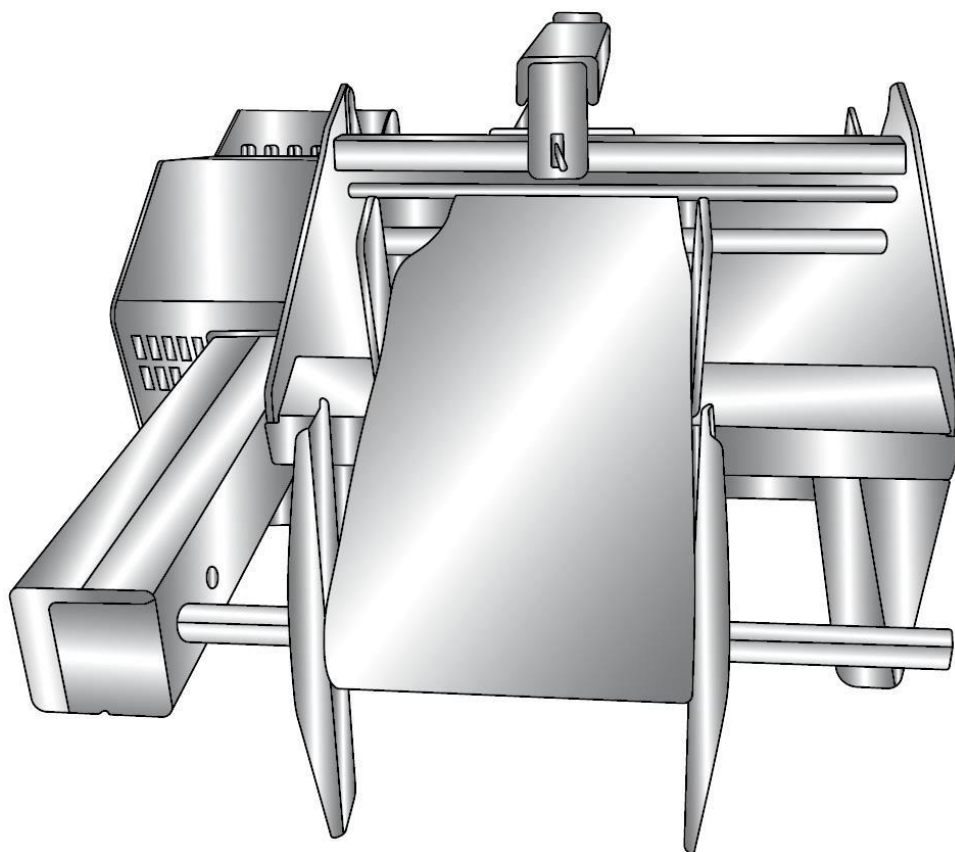
剥離紙ガイド（スライド式）

- 18) 剥離紙の先端を折り曲げ、左右の剥離紙ガイドのタブに挟み込みます。
※剥離紙のたるみを最小限に抑えるため、必要に応じてハサミで剥離紙の長さを調整してください。



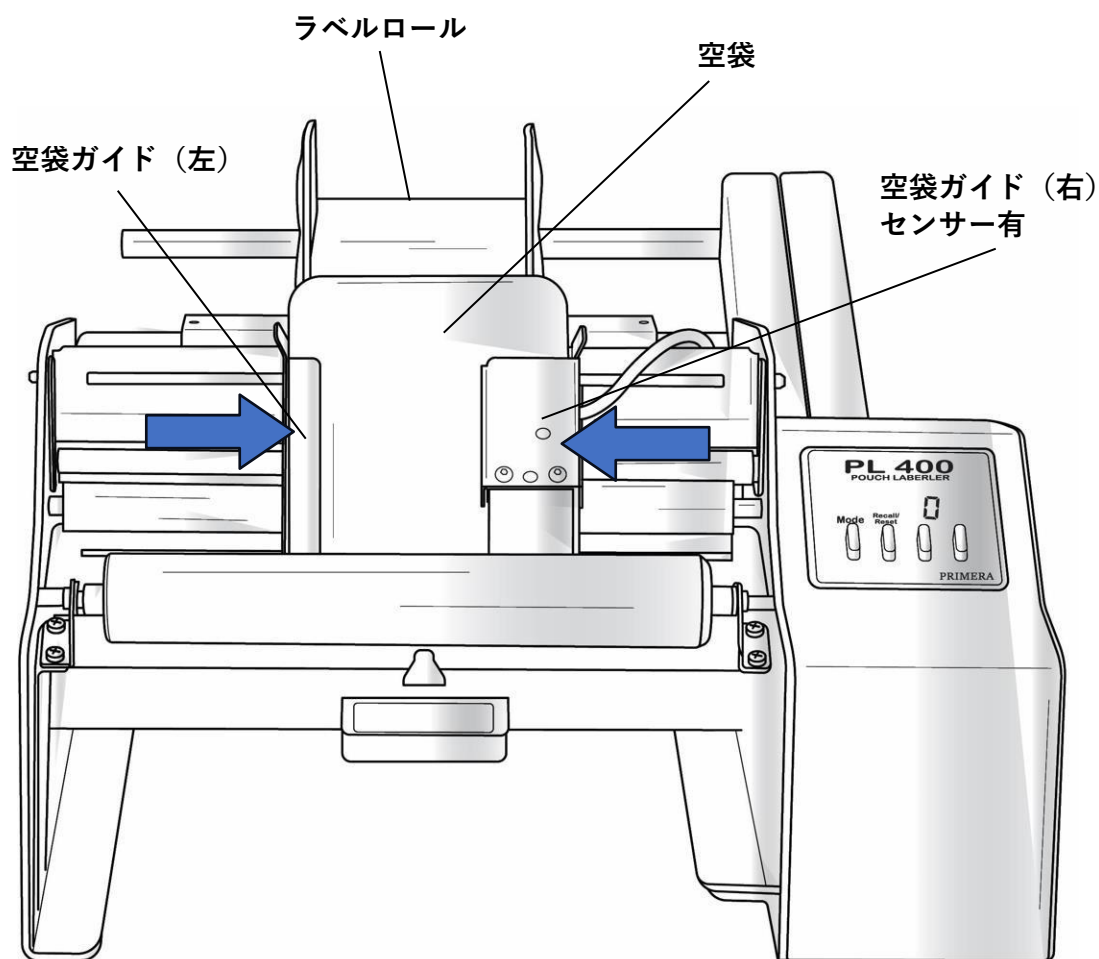


- 19) フットスイッチを押し、ラベルの試し貼りを行ってください。剥離紙の張力により、折り込まれた部分がタブに保持されるようになります。

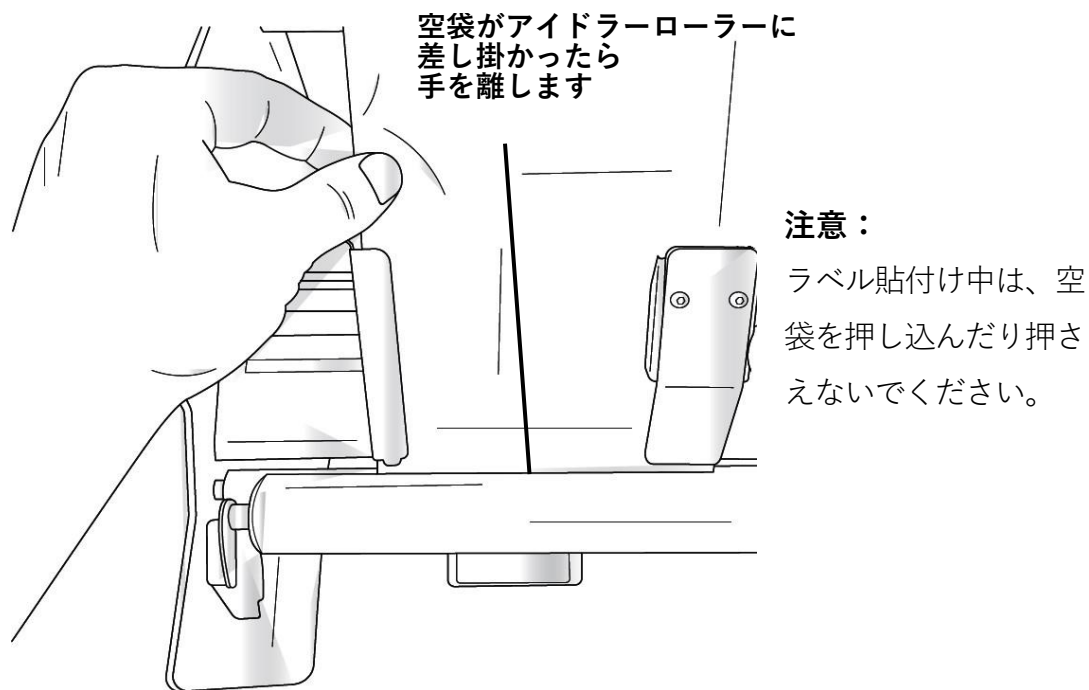


第4章：空袋のセット方法・ラベルの貼付方法

1. ラベラー本体の電源を切ります。
2. ラベルロールに対し、空袋ガイドの位置をスライドして調整します。（一般的には、空袋の中心とラベルの中心が揃うように配置します。）
3. セットする空袋に対し、空袋ガイドの位置が適切であることを確認します。ガイドの位置が狭すぎると、空袋がガイドの間に挟まれ、貼付けの際に歪んだり、ドライブローラーの滑りに繋がります。この状態で空袋への貼付けを行うとラベルがしわになったり、正しく貼付けできない可能性があります。また、ガイドの位置が逆に広すぎると、空袋が蛇行したり、センサーが正しく感知しない可能性があります。



4. 空袋をガイドの間に軽く差し込み、貼付け位置を確認します。位置がちょうど良ければ、一旦空袋を外します。
5. ラベラー本体の電源を入れます。
6. ガイドの間に空袋を差し込みます。ラベラー本体が自動的に空袋を吸い込み、ラベルを貼りつけます。



7. ラベル貼付け後、水平（左右）の貼付け位置を確認します。必要に応じて、空袋ガイドの位置を再調整してください。
8. 次に、垂直（上下）の貼付け位置を確認します。デフォルトでは、ラベルは空袋の先端から 1.9 センチの位置に貼り付けられます。**垂直方向の位置調整方法については、次のページ（第 5 章 5B）を参照してください。**
9. 水平、垂直方向ともにラベルの位置調整ができたなら、一つ前の空袋がローラーを通過したことを確認しながら、できるだけ素早く次の空袋を挿入し、ラベル貼付けを実施してください。

第 5 章：各種設定

5A. 表示単位の変更

デフォルトでは、コントロールパネルの表示単位が「インチ」に設定されています。
初めに下記手順にて「センチ」表示への切替を行ってください。

「インチ」→「センチ」への変更方法

コントロールパネルの「Mode」ボタンと「－」ボタンを同時に押した状態で、ラベラー本体の電源を入れてください。センチメートル表示に切り替わると、先頭に「＝」（イコール）が表示されます。

(参考)「センチ」→「インチ」表示への変更

センチメートル表示から切り替えるには、「Mode」ボタンと「＋」ボタンを同時に押した状態で、ラベラー本体の電源を入れてください。インチ表示に切り替わると、先頭に「－」（マイナス）が表示されます。

5B. ラベル位置調整

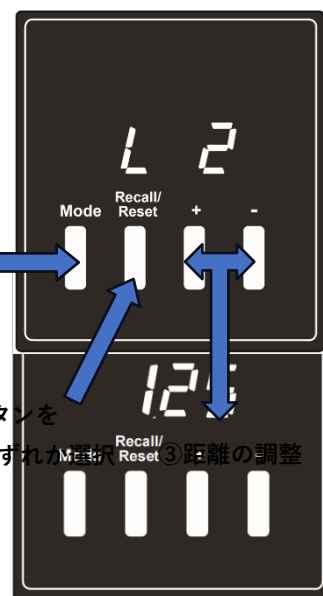
【垂直方向】

ラベルの垂直方向の貼付け位置は、現在のラベル位置設定に基づいて決定します。この設定は、袋の先端（ラベラーに最初に掛かる方の先端）からラベルの貼付け開始位置までのおおよその距離を表します。ラベラー本体には、異なるラベル位置設定に応じ、最大 9 種の貼付け設定を保存することが可能です。各貼付け設定（ディスプレイに L1～9 で表示されます）を表示するには、「Mode」ボタンを 1 度押します。その後、「Recall/Reset」ボタンを使用して番号（1～9）を選択します。

L1～L9 で貼付け設定が表示された後、袋の先端とラベル貼付け開始位置の距離を表す数字が表示されます。「＋/－」ボタンを使用して、距離を適切な値に調整します。（距離は最小 1.9cm～最大 24.8cm まで調整可能です。8 秒後、本体は貼付けモードと距離を自動保存し、ディスプレイはラベルカウンターに戻ります。

①Mode ボタンを 1 度押す

②Recall/Reset ボタンを使用し L1～L9 のいずれかを選択
③距離の調整



ラ
ベ
ル
ロ
ー
ル
の
位
置

と、空袋ガイドの位置関係にてラベルの貼付け位置が決定します。
ラベラー本体の電源を切った状態で、ラベルと空袋ガイドが任意の位置に来るよう調整します。その際、ロールガイドでラベルロールをきつく挟みすぎたり、空袋ガイドで袋を挟んだりしないよう注意してください。
(ラベルや空袋が蛇行したり、ヨレるなど、うまく貼れない原因となります。)

5C. 貼付速度の切替

高速モード：15.2 cm / 秒

このモードは、一般的なラベルにを貼り付ける際に使用します。
幅が 15.2 cm 以上のラベル、非常に強力な粘着剤を使用したラベルは、モーターの停止を引き起こす可能性があります。モーターの停止が発生した場合は、後述の低速モードに切り替えてください。

低速モード：7.6 cm / 秒

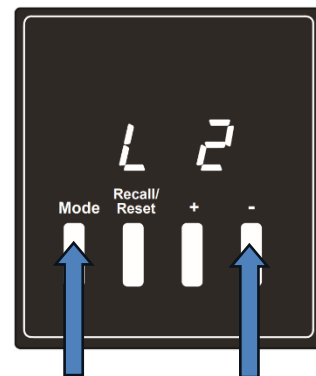
低速モードに切り替えるには、「Recall」ボタンと「-」ボタンを押しながら本体の電源を入れてください。高速モードに戻すには、「Recall」ボタンと「+」ボタンを押しながら本体の電源を入れてください。

5D. ラベルカウンターモード

デフォルトでは、貼り付けたラベルの枚数がコントロールパネル上に常に表示されます。カウンターは、設定変更のために各ボタンを操作している間一時的に消えますが、設定完了後、自動的に再表示されます。カウンターを「0」にリセットするには、「Recall/Reset」ボタンを 5 秒間長押ししてください。

5E. ラベル通紙モード

剥離紙ドライブローラーとアイドラーローラーの間にラベル用紙を通しやすくするために、ラベル通紙モードをご活用ください。このモードを有効にするには、「Mode」ボタンと「-」ボタンを同時に押して放します。（剥離紙ドライブローラーがゆっくり動きます。）4つのいずれかのボタンを押すとモードを終了します。



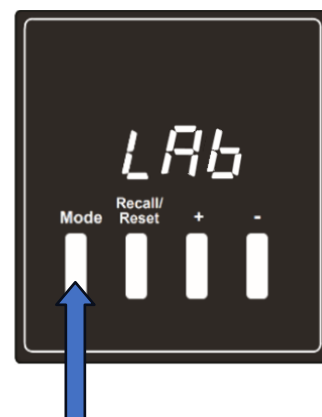
+
Mode ボタンと - ボタンを同時に押して放す

5F. ラベル最大長の変更

デフォルトでは、貼付け可能なラベルの最大長は 406mm（16 インチ）に設定されています。これを最小 101mm～最大 812mm（4 インチ～32 インチ）に調整することが可能です。ラベルの最大長の設定を変更するには、

- ① 「Mode」 ボタンを 5 秒間長押しします
- ② 「Lab」 が表示されたら、「Mode」 ボタンをさらに 2 度押し、「Lab」 の文字を表示します
- ③ 「+」 / 「-」 ボタンを押してラベル長を増減し、調整します

ラベル詰まりが発生した場合の影響を最小限に抑えるために、ラベルの最大長は通常、実際に使用しているラベルの長さよりも 5cm 長い程度に設定することをお勧めします。

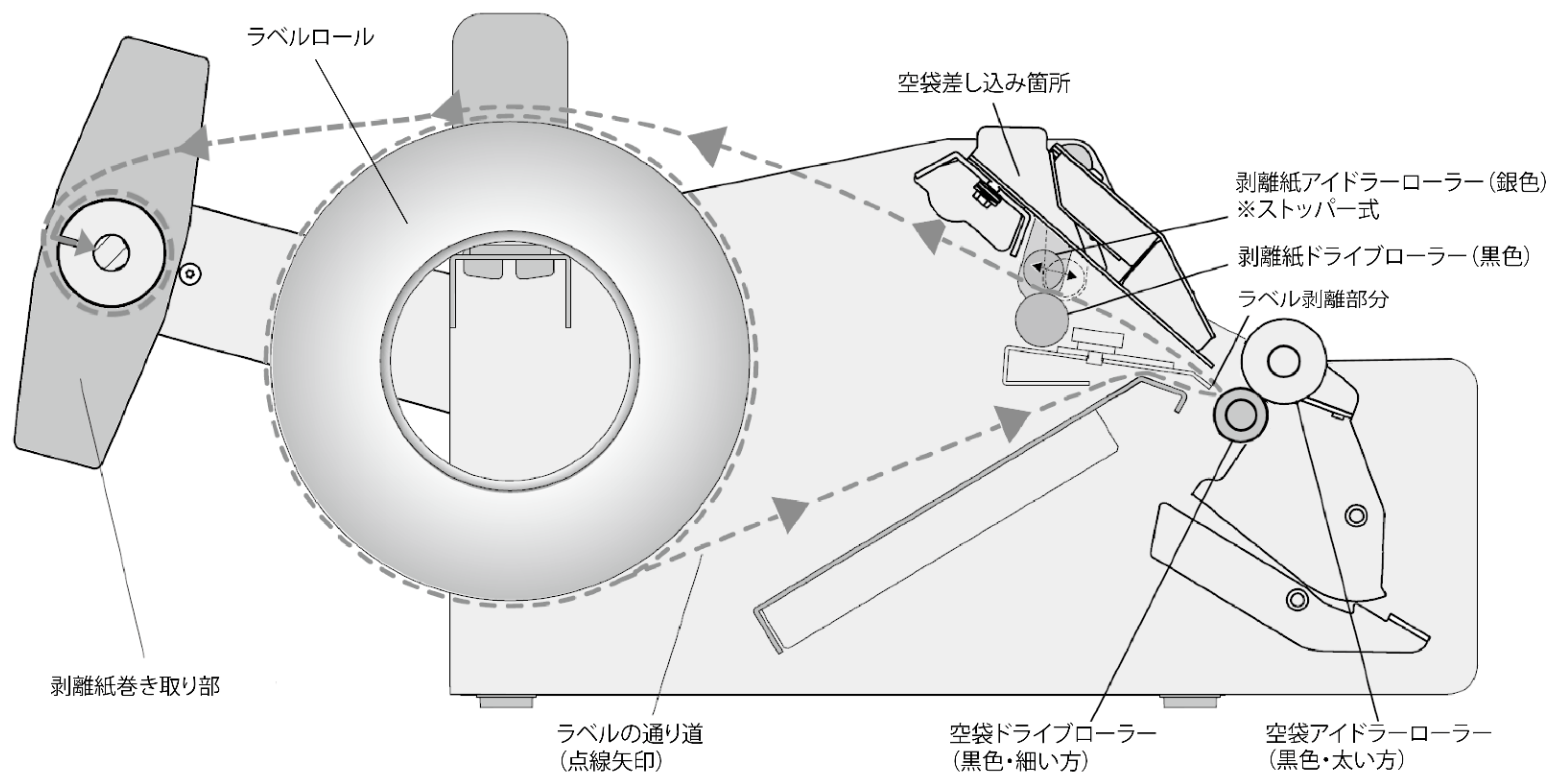


- ① Mode ボタンを 5 秒長押し
- ② Lab と表示されるまで二度押す

第 6 章：ラベルの通し方ガイド

ラベルの通し方については、下記図面をご参照ください。

ラベルの通し方ガイド



第7章：解体・梱包の手順

不具合や修理のために機体を解体・梱包してサポートセンターに送付する場合、以下手順をご参照ください。

■剥離紙の巻き取り部分解体手順

① ラベラー背面が上にくるように、本体を立てます。



② マイナスドライバーや、本体に同梱されている銀色のレンチの後ろ側を、巻き取りアーム根元の溝（赤丸部分）に差し込みます。



③ 内部の黒いローラーを左側に少し押し込むようにしながら、もう片方の手でアームを抜き取ります。



黒いローラー（巻き取りアームを外した状態）



■梱包について（AP360・AP380・PL400 共通）

納品時の梱包箱・緩衝材をご使用いただき、以下ポイントにご留意ください。

梱包箱・緩衝材がお手元がない場合は、サポートセンターにお問い合わせください。

※正しく梱包されていないことによる輸送中の破損については、別途修理費用をご請求させていただく場合があります。何卒ご了承ください。



第 8 章：トラブルシューティング

Q. 幅 15.3 cm 以上のラベルを貼りつける際にモーターが失速してしまう

A. 貼付速度を落とし、モーターの動力を上げる必要があります。第 5 章 5C を参照し、低速モードに切り替えて貼付けを試してください。

Q. ラベラー本体の動作が遅い

A. 低速モードに切り替わっている可能性があります。第 5 章 5C を参照し、高速モードに切り替えてください。

Q. ラベルの向き・出し方向について

A. ラベルの印刷面が、ロールの外側にくるようにご発注ください。

PL400 では、ラベルロールはラベルの印刷面を下向きにセットします。また、空袋の上側と下側、どちらから先にラベルを貼るかによってラベルの出し方向が変わりますのでご注意ください。

第 9 章：各種仕様

対応空袋の幅：	81mm - 228mm
対応空袋の高さ：	44.5mm - 812mm
対応空袋の厚み：	最大 5.3mm
ラベルロールの直径：	最大 203mm
紙管の内径：	2 インチもしくは 3 インチに対応 (51mm もしくは 76mm)
ラベルの幅：	19mm - 210mm
剥離紙の幅：	25.4mm - 213mm
ラベルの高さ/長さ：	19mm - 812mm
推奨ラベル間ギャップ：	3.175 mm - 6.35mm
剥離紙の厚み (推奨)：	50.8 μ m - 254 μ m *
ラベル上紙の厚み：	76.2 μ m - 127 μ m **
電気定格：	12 VDC、5A
電力要件：	100-240 VAC、50/60 Hz、60W
貼付速度：	高速モード：14.2cm/秒 低速モード：7.6cm/秒
認証規格：	UL、UL-C、CE、FCC Class B
重量：	9.07 kg
寸法：	幅 340mm × 高さ 226mm × 奥行 508mm

*滑りやすい素材の剥離紙や、推奨値よりも薄い剥離紙は、ドライブローラー上で滑ってしまい、貼付けがうまくできない場合があります。また、透明の剥離紙は推奨しません。

**ラベルの厚み以外に、柔軟性やコシの度合いも貼付けに関係します。ラベルの柔軟性が高すぎると、厚みが推奨値内であっても、センサーフラグに引っ掛かってしまい貼付けができない場合があります。ポリプロピレン、ポリエステル、ビニール素材のラベルは、より柔軟性が高い傾向にあります。ラベルロールの正式ご発注前に、本機で事前に貼付テストを実施いただくことをお勧めします。